

さくらがおか

区民センターニュース

明るく豊かなコミュニティの交流を



第45号

平成24年12月1日

桜丘区民センター運営協議会

〒156-0054 世田谷区桜丘5-14-1

TEL 3439-0541

桜丘コミュニティ講座

「バスツアー（視察研修会）」

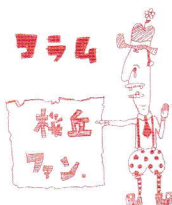
9月12日（水）

まだ暑さの残る新秋の青空の元、毎回大人気のバスツアー（視察研修会）が参加者総勢49人にて今年も開催されました。

今回の視察研修地は、どちらも静岡県内にある「日本盲導犬総合センター」と「株式会社ヤクルト本社 富士裾野工場」。最初にバスが向かった「日本盲導犬総合センター」は、「盲導犬の里 富士ハーネス」という愛称でも親しまれており、盲導犬の一生をトータルにケアすることを目的とした国内で初めての施設です。盲導犬によるデモンストレーションの見学や、アイマスクを装着しての歩行体験などを通じて、盲導犬や視覚障がいについて理解を深めました。



朝霧高原にての昼食を挟んで訪れた「株式会社ヤクルト本社 富士裾野工場」では、廃棄物の排出抑制と再資源化の徹底による「ゼロエミッション」への取り組みについてのビデオを視聴した後、生産工程を見学。バスツアーの最後には御殿場わさびの郷に立ち寄って、楽しい研修会の1日を過ごしました。



「桜丘すみれば自然庭園」は来年で開園10周年を迎えます。私たち世田谷すみればネットのメンバーがはじめて足を踏み

入れた旧植村邸の庭には、一面スミレが咲き乱れていました。こんな住宅地の真ん中に、まさに「夢」のような光景が広がっていたのです。それから10数年。スミレの数は以前ほどではありませんが、かわりに大きな花が咲きました。それは、ここを訪れる多くの人たちの笑顔です。小さな子供たちに絵本を読んだり、お話をしたり、穏やかな時間を楽しんでいるママ。「パパ、バッタを捕まえたよ」と得意げにしている男の子。ベンチに身をゆだねている常連のお年寄り。どれもこれも「すみれば」のありふれた日常です。公園って私たちの生活に寄り添って、いつもそこにあるもの。決して「特別な存在」ではないはず。でも「すみれば」は桜丘や近くの街に住む人たちにとって、特別な場所になるうとしていっています。

秋には美しい紅葉も楽しむことができます。

区民の手で守り、育てられている「桜丘すみれば自然庭園」で、あなたにとっての楽しみ方を発見してみませんか。



（桜丘すみればネット 大江亮二）



平成24年度
これからの

行事予告

12月～3月



※予定は変更になる場合があります。

第12回 社交ダンス交流会

12月2日(日)午後1時～4時
桜丘ホールにて

社交ダンスのお好きな方、おひとりでもペアでも、当日、会場へ直接ご来場ください。お待ちしております。

あ♪ライブ

2月17日(日) 桜丘ホールにて

「あ」ナログ」「あ」カペラ」「あ」コースティック」「あ」ンサンブルの意味を込めたイベントが4年目を迎えます。今年のテーマは、ズバリ「旅」！様々なライブパフォーマンスをお楽しみください。

桜丘まちづくり音楽祭

12月23日(日・祝) 午後3時～
桜丘ホールにて



昨年のステージの様子

クリスマスシーズンにぴったりのオペラ「くるみ割り人形」が、好評だった昨年に引き続いて、バージョンアップで帰ってきます！申し込みが必要。子どもは無料です。問合せ：NPO世田谷桜丘まちづくり TEL：3427-4181

その他の予定

◎音楽のつどいコンサート

3月10日(日) 桜丘ホールにて

◎卓球のつどい

3月23日(土) 体育室にて

桜丘図書館からのお知らせ(お詫び)

講演会「わが父 森繁久彌を語る」を延期させていただきます。

日頃から桜丘図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

本紙9月1日号で、森繁建さん(久彌さんの次男)による講演会を12月15日(土)午後2時から、桜丘区民センター体育室で開催予定とお知らせいたしましたが、会場の都合(都知事選の投票所準備)により、来年2月14日(木)に延期の予定とさせていただきます。

申し込み方法など詳細は、チラシ等にてお知らせいたします。

センターニュースからのお詫びと訂正

本紙9月1日号「コラム」にて、ご健在で活躍中のミッキー吉野さんに関しまして、事実と異なる内容が含まれていました。

また、同号「桜丘図書館からのお知らせ」にて、故・森繁久彌さんが顕彰されました称号と久彌さんのご次男のお名前に、それぞれ誤りがありました。正しくは、「世田谷区名誉区民」と「森繁建」さんです。お詫びして訂正させていただきます。



桜丘

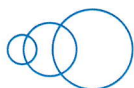
広げよう
つなげよう
人の輪を

新
始ま
んの
年に

開会式・交流会



模
協

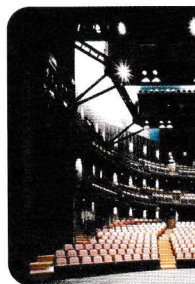


いろいろ…近隣サンポ



12月11日(火)からは、英国演劇界を席巻したリチャード・ビーンの演劇作品『ハーベスト』を、渡辺徹さん、小島聖さんほか実力派揃いの俳優陣が立ち上げます。渡辺さんは、ひたすら前向きに生き抜く主人公の19歳から110歳までを演じ切ります。また、年明けからは萬斎芸術監督の作品のほか、世田谷ならではの企画が目白押し。演劇、ダンス、料理(?)など様々な切り口から、どなたでもご参加いただけるワークショップも開催。ぜひ、あなたの街の劇場に遊びにいらしてください。

三軒茶屋のランドマーク、キャロットタワーの中にある「世田谷パブリックシアター」は、現代演劇と舞踊を中心とする専門的な活動と市民の自由な創作や参加体験活動を通し、新しい舞台芸術の可能性を探る劇場です。劇場芸術監督を狂言師の野村萬斎が務め、主劇場・世田谷パブリックシアター(約600席)と小劇場・シアタートラム(約200席)のほか、稽古場や作業場、音響スタジオなど、作品創造に必要な設備が揃っています。当劇場のプロデュース公演は、世田谷だけでなく国内外の各地で上演され世界的な評価を受けています。



住所	世田谷区大蔵
交通	東急田園都市線 三軒茶屋駅

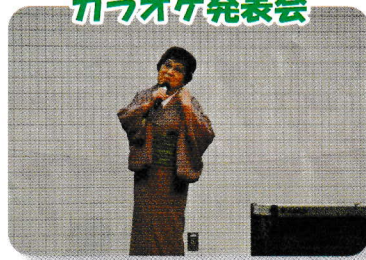
開会式



展示



カラオケ発表会



お茶席コーナー



手作り体験コーナー
(折り紙・アレンジフラワー)



平成24年度



区民センターまつり

11月10日(土)・11日(日)

合唱・器楽演奏発表会



主な取り組みとして“出席者の楽しめる開会式”を目指した今年は、式典の前からステージ上でジャズバンドが生演奏を披露。例年通りの盛りだくさんな楽しい2日間でした。また、会場には東日本大震災への義援金の募金箱を昨引き続いて設置させて頂きました。ご協力ありがとうございました。

力団体コーナー



児童館こどもまつり



フリーマーケット

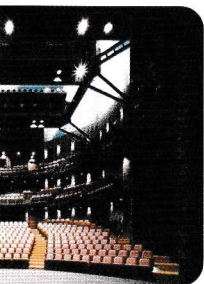


舞台発表会



活動報告

「世田谷パブリックシアター」



子堂4-1-1
市線・世田谷線
直結



ヨガ、エアロビクス、ストレッチ体操など盛り沢山の内容で、たっぷりの汗をかい、楽しく体操をしました。17日の体操の後、地域における「共食」(異世代交流による会食)の機会を提供する取り組みとして、大根カレーを試食しながら食育ミニ講座と参加者同士で交流がもたれました。

子育てママのリフレッシュ体操

10月10・17・24日(水)

利用者団体の紹介

区民センターを利用しながら社会貢献や地域との交流を深めている団体の紹介をします。毎回3団体ずつ、活動内容などを取上げていきます。また運営協議会では紹介する団体の募集もおこなっております。（詳細は事務局まで）

『アンサンブル ギターラ』

クラシックギターの合奏を楽しんでいる4月に発足したばかりのサークルです。主に3部合奏に取り組んでおり、曲目はオリジナルからよく知られた曲までさまざまです。

「歌って！歌って！」レッスン中に講師の新聞英雄先生（プロのギタリスト）からよく言われる言葉です。ただ音を出すのではなく、心で歌う事でそれが指先に伝わり曲になる事を何度もお手本を示して教えて下さいます。

また、私達の技量に合わせた先生の編曲によりハーモニの楽しさも味わっています。11月の桜丘区民センターまつりにも初めて参加させて頂きました。今後練習を重ねて更に楽しい演奏をと考えています。

毎月第1、第3木曜日が練習日です。先生のレッスンは2時間、その前後1時間ずつが自主練習となっています。現在会員は6名。

もう少し人数が多いともっと演奏にも巾が出てくるのではないかと思いたすので、ギターの音色の好きな方、今まで一人で演奏していた方も一緒に音の重なりを楽しんでみませんか。来たれ！新入会員！！



『料理会 きょう人会』

「食べることは大好き」と言う方は多いと思います。「でも作るとなると…」と二の足を踏んでしまう男性の方が圧倒的。奥さんに「おんぶに抱っこ」の方が殆どではないでしょうか。

「自分でも料理を作ってみよう」との声から、3年前に「きょう人会」がスタートしました。会員20名、内女性3名で、男性が殆どの男の台所です。

はじめは、庖丁の握り方、野菜の切り方を知らなかった人達が、料理の基本を覚え、今ではレシピがあれば自分で作ることが出来るようになりました。



2名の指導者のもと、毎回「旬」の食材を使い、メインからデザートまで、美味しい料理を作っています。また、皆で料理を批評しながらランチを楽しんでいます。最近では、奥さんや家族の為に料理を作った喜びも増えています。



『社交ダンスサークル スイングらん』

戦後間もない昭和24年頃当時は食べることに精一杯で、娯楽のようなものは何一つない時代でしたが、何故か社交ダンスはどの盛況でした。それからしばらくして高度成長期に入り、ダンスどころではない状況が続いておりましたが、私は昭和60年にリタイヤすると同時に再び社交ダンスを始めました。ダンスが好きだったこと、健康のため適度な運動になると考えたからです。以来今日まで休むことなく続けております。現在は週1回（金曜）、先生は小柄ながら美人で厳しさとユーモアを兼ね備えた先生で、所定の2時間はあっという間に過ぎてしまう程充実しております。

また毎年年末第1日曜日には桜丘区民センター運営協議会主催の「社交ダンス交流会」が開催されます。ダンスサークル相互の連携と親睦を深めるため、多くの方々のご参加をお待ちしております。



昨年の社交ダンス交流会出場時の様子

追悼

桜丘区民センター運営協議会副会長ならびに本紙編集長として長年にわたってご尽力を下さいました原広中さんが、11月19日午前中に永眠されました。ご生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。